

農産JAS規格の
学び直しに!



一般社団法人日本オーガニック検査員協会^{ジョイア}(JOIA)
〒417-0801 静岡県富士市大淵2858-13
TEL : 0545-32-8585 E-MAIL : info@joia-organic.com

改訂規格をイチから学ぶ (農産)

- コース名 : 改訂規格をイチから学ぶ(農産)
日程 : 2024年9月5日(木) 13時~17時
開催場所 : オンライン (人数が集まれば対面会場の設定も検討します)
対象 : 検査経験の少ない方、見習い検査員の方
過去に規格の講習会を受けてこれから検査員を目指す方
改訂箇所を含む規格全般を復習したい方

<開催要項>

(1) 日時

2024年9月5日(木) 13:00~17:00

(2) 会場

オンライン

(対面会場もご希望いただいておりますので、人数が集まれば設定いたします。)

(3) 講師

丸山豊 (JOIA顧問)、作吉むつ美 (JOIA副代表理事)、板敷美加 (JOIA代表理事)

※ 講師は、現役で検査も行うベテランで、検査員育成のための講習会、事業者むけの講習会等で講師を多数経験しています。

(4) 内容

1. 有機農産物の日本農林規格 – 改訂のポイント概説
2. 規格の項目ごと (ほ場、種苗、育苗管理、肥培管理、病害虫防除管理、一般管理、収穫以降の工程の管理、スプラウト、きのこ) に、ポイント解説と事例を用いての演習

※ 参加者には、事前にテキストを配布します。テキストのイメージは以下をご参照ください。

【ポイント】

・有機的管理に転換した後、収穫前1年以上禁止物資を使用していない場合は、「転換期間中 有機○○」の表示が可能である。

転換期間を評価する上で肝要なのは、「農業の自然循環機能の維持増進を図るという原則」に基づいて判断することである。禁止資材の使用がない場所を開拓したり、長年休耕していた場所での有機栽培を始めたとしても、すぐに「有機」と評価されるわけではないので注意が必要である。

転換期間中有機の条件

- 有機的管理に転換した後、収穫前1年以上禁止物資を使用していない場合は、「転換期間中 有機○○」の表示が可能である。
- 転換期間を評価する上で肝要なのは、「農業の自然循環機能の維持増進を図るという原則」に基づいて判断することである。
- 有機と慣行を交互にくり返すことは、原則に反して認められない。

転換期間中の有機認証は、「収穫前1年以上有機的管理」であることが求められている。これを逆手にとって、有機と慣行を交互にくり返すことは、原則に反して認められない。

Q&A 9-3 同一のほ場で有機栽培と慣行栽培を交互に切り替えて繰り返すことは可能ですか。
(答)
慣行栽培から有機栽培への転換は、転換後も継続的に有機栽培を実施することが前提となっており、コーデックスガイドラインが定められているとおり、同一のほ場で有機栽培と慣行栽培を交互に切り替えて繰り返すことはできません。
ただし、自然災害、ほ場整備その他やむを得ない事情があり、繰り返しが一時的なものであると登録認証機関が判断した場合はこの限りではありません。

(5) 対象者

- ・ 検査経験の少ない方 ・ 現在、見習い検査員の方
- ・ 過去に規格の講習会を受講済みで、これから検査員を目指す方
- ・ 認証事業者、検査/判定/認証事務局の方で、改訂箇所を含む規格全般を復習したい方
- ・ 過去に規格の講習会を受講済みで、改訂箇所を含む規格全般を復習したい方

(5) 参加費

- ①JOIAサポート会員、2023年～2024年にJOIA検査技術講習会（農産）を受講された方
5,500円（消費税込）
- ②一般の方
16,500円（消費税別）

(6) 申込方法

*** お申し込みフォーム** <https://forms.gle/Ka92XDwRRwS2xuw17>

※申し込み締め切り8月23日（金）